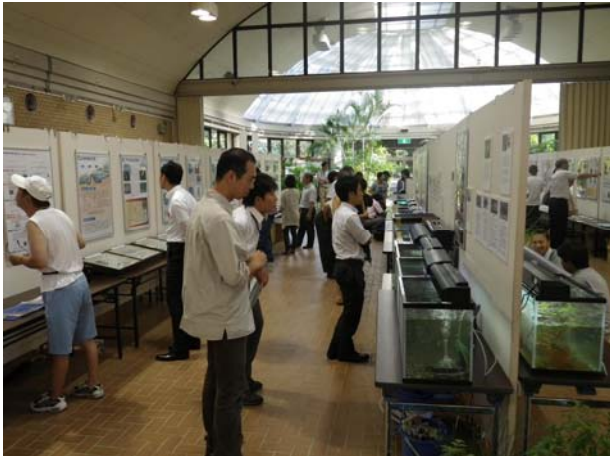


「みんなで守ろう なごやの生きものたち」を開催しました

平成23年8月3日（水）から8月7日（日）まで、名古屋市北区の名城公園フラワープラザにおいて、展示会「みんなで守ろう なごやの生きものたち」を開催しました。



↑ 展示会場全体の様子

この展示会は、都市部の生物多様性保全や外来生物対策に関心を持つ人々の輪をひろめるために開催したもので、会場では、なごやの生きものの実物や標本の展示、なごや生物多様性保全活動協議会の取組や会員の活動紹介などを行いました。

期間中、延べ4,000名以上の方が来場されました。

なごやの生きもの展示には、哺乳類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫などの動物と、水生植物、水田雑草などの植物をあわせ約70種の実物展示と、15箱の標本箱に納められた昆虫標本など、多くの生きものを展示しました。

在来生物と外来生物を比較して展示するなど、生物多様性への理解を深めるために展示方法にも工夫を施しました。また、協議会会員が、来場者に生きものの解説や実物を見せ、生きものとの触れ合いの場づくりを行いました。



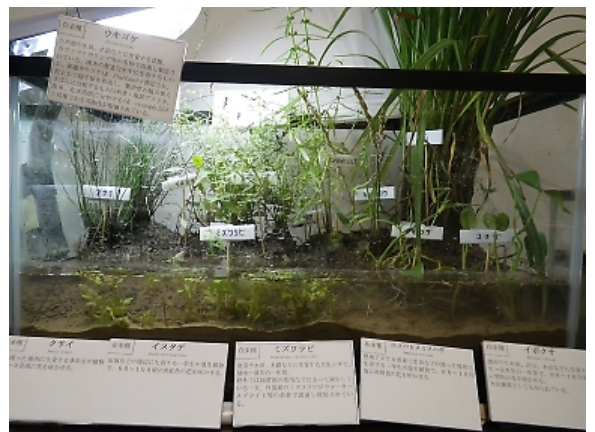
ナゴヤメダカ(東山動物園)

へビとのふれあい



ヌマガエル

水田雑草



子どもから大人まで、来場者のほとんどが、各展示物に立ち止まってじっくり見ていましたが、なかでも、仔ガメふれあいコーナーが大人気でした。

ここでは、ニホンイシガメ、クサガメ、ミシシippアカミミガメの仔ガメを展示し、併せて、成長したカメも展示しました。

来場者からは、大きさの違いに対して、驚きの声が聞かれました。



↑ 仔ガメふれあいコーナー

展示会の期間中、野鳥観察会、特別講座、事例報告会といった参加型の企画を行いました。



野鳥観察会では、2時間かけて名城公園内の野鳥を観察しました。身近な鳥（ハト、カラス）や、カイツブリ、白鳥、カワウなどを、双眼鏡を使って観察しました。

← 野鳥観察会の様子

特別講座では、「耕さない田んぼエコたん」主宰の高山博好氏より、生物多様性の宝庫である「田んぼ」や、身近な田んぼ「バケツ稲」についての説明がありました。

事例報告会では、協議会会員である「水源の森と八竜湿地を守る会」の柴田美子さんと、「山崎川グリーンマップ」の大矢美紀さんとみなさんが、これまでに行ってきた外来生物対策の苦労や成果、環境保全のための取組について事例報告がありました。



↑ 特別講座の様子



↑ 事例報告会の様子

来場者を対象としたアンケートでは、「生きものに触れて楽しかった」、「外来生物駆除の大変さがわかった」、といった声が聞かれ、なごやの生物多様性や協議会の活動への関心を広める良い機会となりました。